

A級 推奨選手



飯島 淳 [東京・78期]

目標をつかんだ時のレースさばき、差し脚ともにしっかりしている。当地は昨年の6月開催で優勝実績がある。ホームのアドバンテージを最大限に生かして勝ち上がる。



寺沼拓摩 [東京・115期]

地元期待の新鋭だ。2班に昇班した今期は初戦の7月大宮で連日、先行して2連対。脚力的には主カクラスでも見劣りしない。2度目の当地参戦でファンにアピールする。



阿部架惟都 [宮城・115期]

今期2班に昇班したが、初戦の7月青森モーニングでいきなり優出。続く函館ナイターでも2連対と存在感を発揮している。初参戦の当地でもヤングパワーを見せる。

チャレンジ 推奨選手



黒川将俊 [千葉・92期]

今期に入って気配が一変している。7月静岡では連勝で決勝進出。準決勝は117期のルーキー3人をまくりで破り、大穴配当を演出している。今シリーズも見逃せない。



菅田和宏



山田和巧



小宮剛



隅田洋介

力が違う隅田洋介

A級1・2班戦

主役を務めるのは隅田洋平だ。6月青森GⅢではS級初優出。決勝は練習仲間の長島大介のまくりに乗って追い込み、GⅢ初制覇を成し遂げた。今期はA級降格も、7月の大宮、取手で2場所連続の完全優勝を達成。自力、番手戦のどちらでも柔軟に対応して強さを発揮している。8月西武園ミッドを欠場し競輪祭出場は絶望的となったが、この前の9月平に特進を懸けて出場する。今シリーズに出走するのは特進ならなかった場合。圧倒的な人気を集めることになりそうだ。自力基本のパワフルな走り期待に応えよう。地元の小宮剛は格上級の追い込み型だ。6月の当地開催はS級戦で勝ち星を挙げている。隅田の番手を回ればチャンスだろう。堅実な女屋文伸は

関東ラインをしっかりと固めて直線勝負に力ける。南関勢は層が厚い。ペテランの坂木田雄介がラインをけん引する。6月平塚で今年初優勝。成績の波はあるものの、自分のペースに持ち込んだ時は強い。追い込み陣には実力派がそろっている。山田和巧はシャープな差し脚を武器に戦歴は高いレベルで安定している。深澤伸介も近況の伸び脚は光っている。S降りの亀谷隆一までV圏内だ。北日本勢は菅田和宏に期待がかかる。前期S級では大敗が目立っていたが、このクラスではスピード上位の存在。関東、南関に比べて数的には劣勢だが、それを覆せるだけの力は持っている。6月函館ミッドで約5年ぶりの優勝を決めた高谷敏史の走りも必見だ。

ルーキー長田龍拳が中心

A級チャレンジ戦

117期のルーキー4名が参戦。なかでも大きな注目を集めるのは在所1位の長田龍拳だ。5月広島、6月伊東のルーキーシリーズはともに優出。7月の地元静岡は無傷の3連勝で初優勝を飾った。当地は初参戦となるが、同期のライバルに持ち前のスピードを見せつける。櫻井祐太郎はルーキーシリーズこそ一息だったが、7月に本格デビューするや西武園ミッド、続く名古屋ミッドで2場所連続の完全Vを達成。ここを走る前に特班している可能性があるが、出場なら長田には一番の強敵だ。水森湧太、藤野竜也も一戦ごとに経験を積んで成長している。他では変幻自在に攻める佐藤礼文と、先行力ある門脇翼が怖い。

出場予定選手データ

Table with columns for rider name, registration, race date, and performance statistics across various categories (A1, A2, A3).